

◎日本国と大韓民国との間の両国に隣接する
大陸棚^ノの北部の境界画定に関する協定

(略称) 韓国との大陸棚^ノ北部境界画定協定

昭和四十九年一月三十日 ソウルで署名
昭和五十二年六月八日 国会承認
昭和五十三年六月二十日 批准の閣議決定
昭和五十三年六月三十一日 東京で批准書交換
昭和五十三年六月二十一日 公布及び告示
(条約第七号及び外務省
告示第一八三号・一八五号)

昭和五十三年六月二十一日 効力発生

目 次

ページ

前 文	
第一条 大陸棚 ^ノ の境界線の画定	六〇九
第二条 単一地質構造の採掘	六一二
第三条 上部水域又はその上空の法的地位	六一二
第四条 批准及び効力発生	六一三

末文	六一三
附属の地図	六一四
○合意された議事録	六一五
1 第一条1に定める座標の基礎	六一五
2 鉱物資源の探査及び採掘に関する問題に関する協議	六一五

日本国と大韓民国との間の両国に隣接する大陸棚の北部
の境界画定に関する協定

AGREEMENT BETWEEN JAPAN AND THE REPUBLIC OF
KOREA CONCERNING THE ESTABLISHMENT OF
BOUNDARY IN THE NORTHERN PART OF
THE CONTINENTAL SHELF ADJACENT
TO THE TWO COUNTRIES

前文

大陸棚の
境界画定

日本国と大韓民国は、
両国の間に存在する友好関係を助長する」とを希望し、
鉱物資源の探査及び採掘のために日本国と大韓民国がそれぞれ
主権的権利を行使する両国に隣接する大陸棚の北部の境界を
画定することを希望して、
次のとおり協定した。

第一条

両国に隣接する大陸棚の北部に於て、日本国に属する大
陸棚と大韓民国に属する大陸棚との境界線は、次の座標の各
点を順次に結ぶ直線とする。

座標一 北緯三十二度五十七・〇分東経百一十七

度四十一・一分

座標二 北緯三十二度五十七・五分東経百一十七

度四十一・九分

座標三 北緯三十三度一・三分東経百一十七度四

十四・〇分

座標四 北緯三十三度八・七分東経百一十七度四

十八・三分

座標五 北緯三十三度十一・七分東経百一十七度

五一・六分

座標六 北緯三十三度十六・一分東経百一十七度

- Point 1 32°57.0' N 127°41.1' E
Point 2 32°57.5' N 127°41.9' E
Point 3 33°01.3' N 127°44.0' E
Point 4 33°08.7' N 127°48.3' E
Point 5 33°13.7' N 127°51.6' E
Point 6 33°16.2' N 127°52.3' E
Point 7 33°15.1' N 128°21.7' E
Point 8 33°47.4' N 128°25.5' E
Point 9 33°50.4' N 128°26.1' E
Point 10 34°08.2' N 128°41.3' E
Point 11 34°13.0' N 128°47.6' E

五十一・三分	北緯三十三度四十五・一分東経百一十八度二十一・七分	Point 12	34°18.0' N 128°52.8' E
座標八	北緯三十三度四十七・四分東経百一十八度二十五・五分	Point 13	34°18.5' N 128°53.3' E
座標九	北緯三十三度五十・四分東経百一十八度二十六・一分	Point 14	34°24.5' N 128°57.3' E
座標十	北緯三十四度八・一分東経百一十八度四十一・三分	Point 15	34°27.6' N 128°59.4' E
座標十一	北緯三十四度十三・〇分東経百一十八度四十七・六分	Point 16	34°29.2' N 129°00.2' E
座標十二	北緯三十四度十八・〇分東経百一十八度五十一・八分	Point 17	34°32.1' N 129°00.8' E
座標十三	北緯三十四度十八・五分東経百一十八度五十三・三分	Point 18	34°32.6' N 129°00.8' E
座標十四	北緯三十四度二十四・五分東経百一十八度五十七・三分	Point 19	34°40.3' N 129°03.1' E
座標十五	北緯三十四度二十七・六分東経百一十八度五十九・四分	Point 20	34°49.7' N 129°12.1' E
座標十六	北緯三十四度二十九・一分東経百一十九度〇・一分	Point 21	34°50.6' N 129°13.0' E
座標十七	北緯三十四度二十七・一分東経百一十九度〇・八分	Point 22	34°52.4' N 129°15.8' E
座標十八	北緯三十四度二十一・一分東経百一十九度〇・八分	Point 23	34°54.3' N 129°18.4' E
座標十九	北緯三十四度四十・三分東経百一十九度〇・八分	Point 24	34°57.0' N 129°21.7' E
		Point 25	34°57.6' N 129°22.6' E
		Point 26	34°58.6' N 129°25.3' E
		Point 27	35°01.2' N 129°32.9' E
		Point 28	35°04.1' N 129°40.7' E
		Point 29	35°06.8' N 130°07.5' E
		Point 30	35°07.0' N 130°16.4' E
		Point 31	35°18.2' N 130°23.3' E
		Point 32	35°33.7' N 130°34.1' E
		Point 33	35°42.3' N 130°42.7' E
		Point 34	36°03.8' N 131°08.3' E
		Point 35	36°10.0' N 131°15.9' E

Point 12 34°18.0' N
128°52.8' E
Point 13 34°18.5' N
128°53.3' E
Point 14 34°24.5' N
128°57.3' E
Point 15 34°27.6' N
128°59.4' E
Point 16 34°29.2' N
129°00.2' E
Point 17 34°32.1' N
129°00.8' E
Point 18 34°32.6' N
129°00.8' E
Point 19 34°40.3' N
129°03.1' E
Point 20 34°49.7' N
129°12.1' E
Point 21 34°50.6' N
129°13.0' E
Point 22 34°52.4' N
129°15.8' E
Point 23 34°54.3' N
129°18.4' E
Point 24 34°57.0' N
129°21.7' E
Point 25 34°57.6' N
129°22.6' E
Point 26 34°58.6' N
129°25.3' E
Point 27 35°01.2' N
129°32.9' E
Point 28 35°04.1' N
129°40.7' E
Point 29 35°06.8' N
130°07.5' E
Point 30 35°07.0' N
130°16.4' E
Point 31 35°18.2' N
130°23.3' E
Point 32 35°33.7' N
130°34.1' E
Point 33 35°42.3' N
130°42.7' E
Point 34 36°03.8' N
131°08.3' E
Point 35 36°10.0' N
131°15.9' E

三・一分

座標二十

北緯三十四度四十九・七分東経百二十九度

座標二十一

北緯三十四度五十・六分東経百二十九度十二・一分

座標二十二

北緯三十四度五十二・四分東経百二十九度十五・八分

座標二十三

北緯三十四度五十四・三分東経百二十九度十八・四分

座標二十四

北緯三十四度五十七・〇分東経百二十九度二十一・七分

座標二十五

北緯三十四度五十七・六分東経百二十九度二十二・六分

座標二十六

北緯三十四度五十八・六分東経百二十九度二十五・三分

座標二十七

北緯三十五度一・二分東経百二十九度三十二・九分

座標二十八

北緯三十五度四・一分東経百二十九度四十一・七分

座標二十九

北緯三十五度六・八分東経百三十度七・五分

座標三十

北緯三十五度七・〇分東経百三十度十六・四分

座標三十一

北緯三十五度十八・二分東経百三十度二十三・三分

座標三十二

北緯三十五度三十三・七分東経百三十度

单一の地質構造の採掘

三十四・一分
座標三十三 北緯三十五度四十一・三一分 東經百三十一度
四十一・七分
座標三十四 北緯三十六度三・八分 東經百三十一度八・
三分
座標三十五 北緯三十六度十・〇分 東經百三十一度十
五・九分

2 境界線をこの協定に附属する地図に表示する。

第十二条

海底下の鉱物の单一の地質構造が境界線にまたがつて存在するか、当該地質構造のうち境界線の一方の側に存在する部分の全体又は一部を境界線の他方の側から採掘することがやむを得る場合には、両締約国は、当該地質構造を最も効果的に採掘するための方法について合意に達するよう努力する。当該地質構造を最も効果的に採掘するための方法に関する両締約国間で合意することができないすべての問題は、いずれか一方の締約国の要請があつたときは、第三者による仲裁に付託する。この仲裁の決定は、両締約国を拘束する。

第十三条

上部水域又はその上空の法的地位に影響を及ぼすものではない。

This Agreement shall not affect the legal status of the superjacent waters or air space above.

Article III

If any single geological structure or field of mineral deposit beneath the seabed extends across the boundary line and the part of such structure or field which is situated on one side of the boundary line is exploitable, while or in part, from the other side of the boundary line, the parties shall seek to reach agreement on the manner in which such structure or field shall be most effectively exploited. Any question upon which the parties are unable to agree concerning the manner in which such structure or field shall be most effectively exploited shall, at the request of either Party, be referred to third-party arbitration. The decision of the arbitration shall be binding upon the parties.

この協定は、批准されなければならぬ。批准書は、やむを得ない限り速やかに東京で交換されるものとする。この協定は、批准書の交換の日から効力を生ずる。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正當に委任を蒙けて、この協定に署名した。

千九百七十四年一月三十日にソウルで、英語により本書11通を作成した。

日本国のために

後宮虎郎

大韓民国のために

金東祚

第四条

Article IV

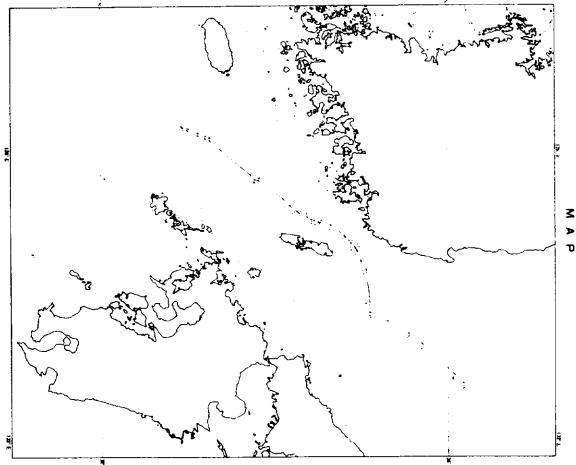
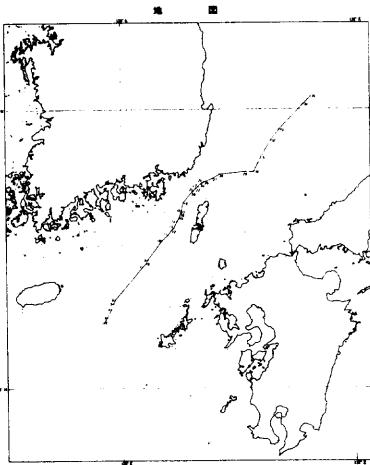
IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorized by their respective Governments, have signed this Agreement.

DONE in duplicate at Seoul in the English language, this thirtieth day of January of the year one thousand nine hundred and seventy-four.

For Japan For the Republic of Korea

Torao Ushiroku

Dong-Jo Kim



訛文

日本国と大韓民国との間の両国に隣接する大陸棚^{たんらう}の北部の境界画定に関する協定についての合意された議事録

基礎に第一
標定のめ条
基る 1

日本国政府の代表者及び大韓民国政府の代表者は、本日署名された日本国と大韓民国との間の両国に隣接する大陸^{だいりく}の北部の境界画定に関する協定（以下「協定」という。）の交渉において到達した次の了解を記録する。

1
第一條に定める地理上の座標は、千九百五十八年十一月の日本国海上保安庁海図第三百二号（第五版）及び千九百五十八年七月の日本国海上保安庁海図第千二百号（第二版）を基礎とするものである。

2
両政府は、いづれか一方の政府の要請があつたときは、協定の対象である区域における鉱物資源の探査及び採掘に関する生ずる問題（漁業に関する問題を含む。）に関して協議する。

千九百七十四年一月三十日にソウルで

日本国政府のために

後宮虎門

大韓民国政府のために

金東府

韓国との大陸棚北部境界画定協定

AND THE REPUBLIC OF KOREA CONCERNING THE
ESTABLISHMENT OF BOUNDARY IN THE NORTHERN
PART OF THE CONTINENTAL SHELF ADJACENT
TO THE TWO COUNTRIES

Seoul, January 30, 1974

For the Government of
the Republic of Korea

Torao Ushirokawa

Dong-Jo Kim

(参考)

この協定は、我が国と韓国に隣接する大陸棚^{はい}の北部において、我が国に属する大陸棚^{はい}と韓国に属する大陸棚^{はい}の境界線を定めたものである。